

鷹番住区 2016 年応急救護訓練

実施日： 平成 28 年 9 月 26 日（月） 14：00～15：00

場所： 鷹番住区センター 第三・四会議室

目黒消防署碑文谷出張所の方 3 名に来館頂き、応急救護実施訓練を行いました。

参加者：鷹番住区従事者 10 名、館内清掃従事者、高林施設運営部会長の計 12 人。

【応急救護訓練】

倒れている人が呼吸をしていなかった場合、救急車が来るまでの処置として、重要な胸骨圧迫（心臓マッサージ）と AED の実習を参加者全員で行いました。

鷹番住区では、毎年 AED の訓練を実施しているので、訓練は、スムーズに行う事ができました。



消防署員の方々の模範指導ののち、従事者も 2 グループに分かれて指導を受けました。

（注意事項として）

- 感電のおそれのある水のある場所や、車にひかれそうな道路に倒れていた場合等、安全な場所に移動してから助ける。
- ネックレスや、女性の下着は、付けたまま AED を使用すると、やけどをしたり、電流の流れが悪くなるので、できるだけ取り除きたい。
- 子供用電極パッドもありますか、それでも貼る場所のない小さな乳幼児には、心臓を挟むように前と後ろに貼る。なお、子供に成人用パッドは、使用できますが、子供用パッドは、成人には弱いため有効ではありません。